（１０５）栃木県上都賀郡の大原鉱山とその近傍

インターネットで、鶏鳴鉱山をキーワードとして検索をした所、参考文献（１）にたどり着いた。栃木県上都賀郡内鉱山調査報告書（１９５３年）である。６０年も前の調査報告書である。文献はつくば市の地質調査所図書室で閲覧・複写することができた。この文献中に、大原鉱山の記述があり、位置は笹目倉山の北東側にあることが記されていた。１４９号沿いにある大原地区から、沢に沿った林道を、笹目倉山の北東当たりまで遡った当たりである。今回は、この文献を手引きに探査を行った。結果、現地を確認することができた。なを、大原鉱山の主要鉱物は金、銀である。

笹目倉山への登山ルートは幾つかある。その中の１つに、１４９号沿いにある清流園からのルートでは、途中に坑口跡があるとの登山報告記を目にした。この鉱山跡は、笹目倉山の南麓である。北東麓にある大原鉱山の位置とは全く違っている。大原鉱山の位置を確認できた後日、この南麓の探査に出かけた。結果、２つの鳥居付きの坑口跡を確認することができた。鉱山名は現在不明である。が、良好な露頭鉱脈がある。一見の価値はあろう。

以下２つの鉱山跡の探査結果について報告をする。

探査日　　２０１１年１２月

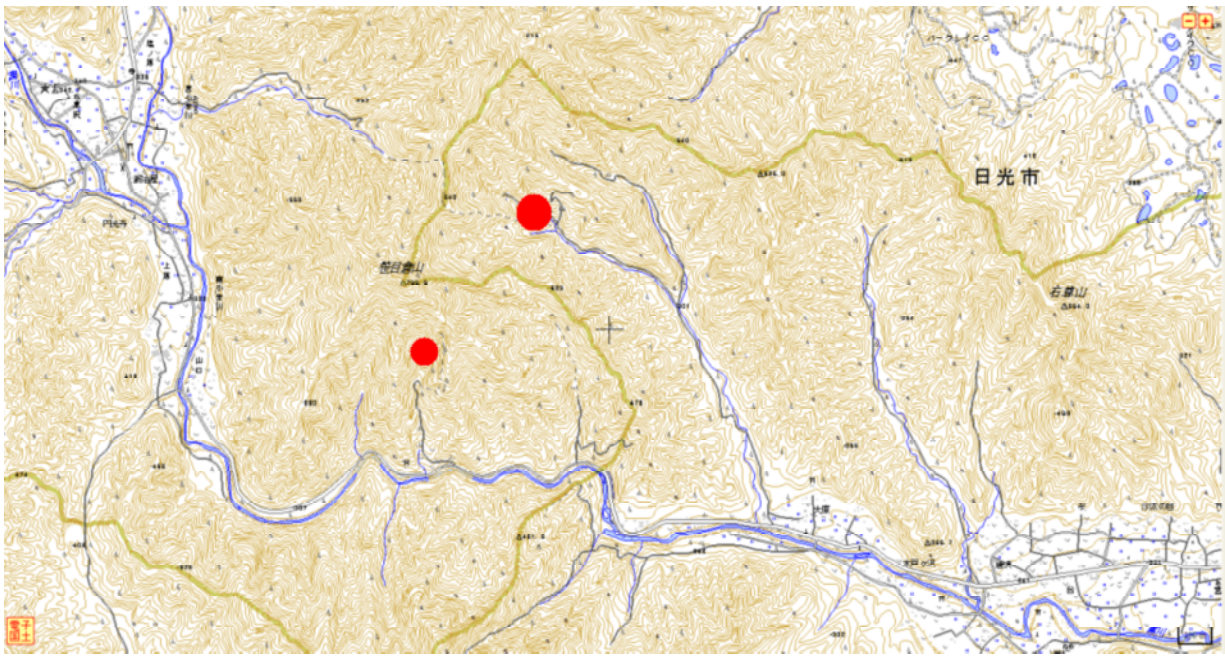

図１　国土地理院の地図サービスホームページより複写掲載。赤丸付近に、坑口跡があった。上の赤丸が大原鉱山跡、下の赤丸の鉱山名は現在不明である。位置などの詳細は以下の図に譲る。

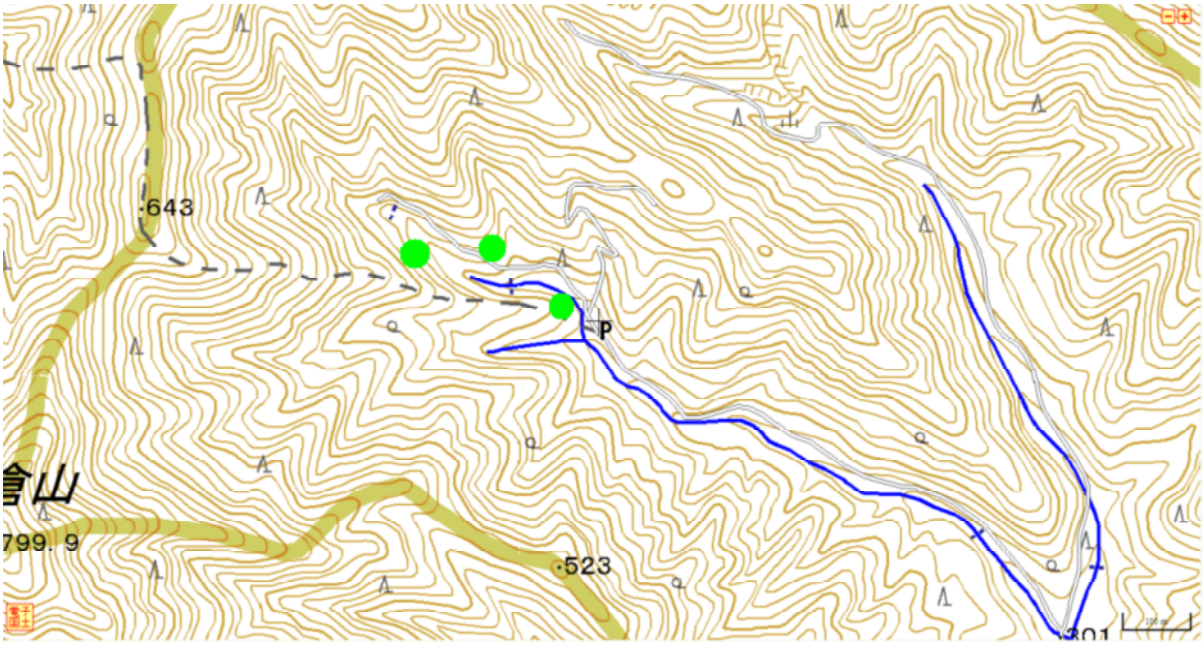

図２　図１の部分拡大図。黄緑丸が確認した坑口跡。ズリらしい場所もあったが、標本となるような物は採集できていない。文字Ｐは車を駐車した場所。

図３　図１の部分拡大図。黄緑丸が確認した坑口跡。登山道、林道を黒破線で追加記入している。坑口跡までの黒破線の直登ルートの林道は幅が広いのであるが、刈り払い・補修は行われておいない。捨てられた林道となっている。人が入っていかなければ、その内廃道になる運命であろう。

鉱山跡写真　大原鉱山

写真１　１４９号を大原地区で右折し、林道に入る。中央の墓地の先が、林道入り口。

写真２　林道を進んでいく。林道は、この橋の先で分岐している。左側に進んでいく。

写真３　沢沿いに先に進んでいく。左側に砂防ダムの上部が見えている。この当たりでも駐車できよう。

写真４　前述した砂防ダムの少し上流、沢の右岸側に坑口跡を見つけた。写真の中央部。枯れ草などでほぼ隠されつつある。草木の枯れた冬季ならではである。

写真５　近づいて、坑道内部を撮影。

写真６　林道を更に先に進んでいくと、林道の右側に坑口跡があった。

写真７　坑口の上部には、幅１０ｃｍから２０ｃｍの粘土化した露頭鉱脈があった。標本として少し採集。参考文献（１）によれば、「この鉱山の鉱床は粘板岩中の裂け目を充填した含金粘土鉱床である」とのこと。

写真８　その坑道内部の様子。

写真９　更に林道を先に進むと、沢の右岸の少し高い所に、坑口跡を見つけた。近づいての一葉。

写真１０　その坑口内部。

鉱山跡写真　笹目倉山南麓（鉱山名　？）

写真１１　清流園の所である。１４９号から右折し、坂道を登り上がると、左側に駐車場がある。

写真１２　駐車場から沢に沿って登り上がってくると、分岐点となる。登山の指導標もある。右コースが、本来の笹目倉山への登山コースとなっている。
　そのまま沢を少し登り上がると、左側にも林道がある。人手を離れて久しそうである。が、登ることに何の不安もない。どちらのルートをとっても良いであろうが、当然ながら、直登ルートの方が時間はかからない。

写真１３　本来の登山コースを上ってくると、幅の広い林道も終わり、朽ちかけた指導板には「行止り」と書いている。もう１枚板が取り付けられ、「金鉱口跡」の文字があった。「行止り」が何を意味しているのか？　不案内（不指導）板である。指導板の右側に細くなった登山道が延びている。笹目倉山への登山ならば、この道を辿る。指導板の左側は谷間に開けた平地となっている。この平地の谷側に坑口跡がある。

写真１４　平坦地の谷側に坑口跡があった。坑口前に鳥居が建てられている。鳥居の古さからすると、何十年も前に建立されたようである。

写真１５　坑口内の様子。

写真１６　平坦地から幅広い林道が下っている。が、捨てられた林道である。下っていくと、途中に、鳥居付きの坑口跡があった。

写真１７　坑口内の様子。

写真１８　坑口から右上方にかけて、露頭鉱脈がある。幅５０ｃｍ程度か。

写真１９　露頭鉱脈に接近しての一葉。標本として少し採集した。粘土化した母岩中に、主として黄鉄鉱の微晶が詰まっている。

採集鉱物写真

　粘土化した母岩中に、主として黄鉄鉱の微晶が詰まっているものを標本として採集した。極ありふれたものなので未掲載。が、文献によれば、この粘土中に金・銀が含有されているようである。

参考文献

（１）「栃木県上都賀郡内鉱山調査報告」、中沢、物部、地質調査所、昭和２８年（１９５３年)。鉱物資源資料Ｎｏ．２１９４。